

会議名	長浜市指定管理者選定委員会第1委員会 (令和3年度第5回会議)
日時	令和3年10月20日(水)
審査対象	長浜市地域福祉センター

審査結果概要

- (1) 申請団体(社会福祉法人長浜市社会福祉協議会)による説明、プレゼンテーション
- (2) 質疑応答【以下質疑応答のとおり】
- (3) 採点、集計
800点満点中:631点(100点満点中:78.88点)
- (4) 審査【以下審査のとおり】
指定管理者候補として適当と判断する者
所在地 長浜市湖北町速水2745番地
名称 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会
代表者 会長 平井 和子
選定にあたっての条件 特になし

質疑応答

- (委員) 申請書13ページの達成目標について、令和2年度を基準として算定しているが、コロナで人の出入りが少ないと思うが、これを根拠にして大丈夫か。
- (申請者) コロナ禍で非常に活動者の方が交流する場を作るのが難しい状況であった。コロナの状況を鑑みてこれ以上の数字を目指して頑張っていきたい。
- (委員) 地域の年齢構成の移り変わりや令和2年度のコロナの状況にあつて、10年間すべて6,700人の利用目標を設定した理由はなにか。
- (申請者) 福祉活動に参画される方は退職された方が中心。今後減っていく傾向である。市民協働センターとの連携で若い世代の方に地域福祉活動に参画いただけるよう取り組みを進めていきたい。
- (委員) 収支計画で同じ数字が続いている理由はなにか。
災害時はボランティアセンターの設置運営をされるが、BCP発動下において、ボランティアセンター以外にしなければいけないことを教えていただきたい。
- (申請者) 地域福祉推進事業は、市の補助金を財源に実施している。財源が変わるようであればそれに合わせて活動を推進していきたい。補助金や市の委託事業にあわせて事業の展開をしていきたいと考えていることから、10年間同じ収支計画としている。

災害ボランティアセンターのBCPについて、地域福祉センターはほぼすべて災害ボランティアセンターに従事する予定。介護事業部門はその部門でBCPを作成していて、それに基づきサービスを継続していきたい。

審査

- (委員長) 集計結果を踏まえ、指定管理者候補として社会福祉法人長浜市社会福祉協議会が適当かどうか意見をお願いします。また、評価できる点、改善できる点があれば意見をお願いします。
- (委員) 10年後の見通しは立てにくいと思うが、しっかりやっていただけだと思う。
- (委員) 既存のセンターの施設運営で問題ないと思うが、指定管理料の算定根拠は市で整理いただきたい。
- (委員) 介護保険事業に力が入ってしまうが、地域福祉に重きを置いて事業を進めていきたい。
- (委員長) 結論は指定管理者として適当であると思う。10年というスパンを考えた時に、収支計画はどの程度の検討をなされたのか危惧するところである。通常であれば3年5年は現状ベースで見ることができるが、10年は様々な要素を加味したうえで計画しないといけないと思う。総合的には社会福祉協議会の地力を評価して適当と判断する。
それでは、社会福祉法人長浜市社会福祉協議会を指定管理者候補として決定してよろしいか。

(異議なし)

結論、社会福祉法人長浜市社会福祉協議会を指定管理者候補とする。